

リンクB 運動・スポーツを楽しむための健康・体力づくり

施策1 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進

目標・方向性（関連性）

日常生活の中での運動習慣の定着を図る
 生きがいを感じられるスポーツ環境を推進する

- ア 健康ちば21（第2次）の推進
- イ 働き盛り・子育て世代のスポーツの推進（リンク C・E・F）
- ウ シニアスポーツの推進（リンク C）

令和2年度の主な施策 （計画） 【予算額（千円）】 担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2計画	3
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ立県ちば推進月間 【350】 体育課 親子体験イベント ・体育課ホームページの拡充 【-】 体育課 ・市町村生涯スポーツ担当者 研修会での啓発 【-】 生涯スポーツ ・生涯スポーツ指導者養成・ 活用事業 【910】 生涯スポーツ （千葉県生涯スポーツ 公認指導者等養成講習会） （千葉県スポーツリーダー 養成講習会） （認定スポーツ指導者研修会） （地域スポーツ指導者研修会） ・広域スポーツセンター事業 【400】 生涯スポーツ ・生活習慣病予防支援 人材育成事業 【965】 健康づくり支援課 ロコモティブシンドローム 予防に関する普及啓発 	<p>9クラブで実施 のぼり掲揚・リーフ レット・クリアファ イル配布</p> <p>64名参加</p>	<p>11回実施</p> <p>56名参加</p>	<p>11回実施</p> <p>57名参加</p>	<p>10回程度</p> <p>中止 （資料配布）</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">リンク C-1 に記載</div>				
<ul style="list-style-type: none"> 健康・運動指導者育成研修 市町村独自の体操の情報 提供 	<p>1回 78名参加</p>	<p>1回 42名参加</p> <p>ホームページへ の掲載</p>	<p>1回 61名参加</p> <p>ホームページへ の掲載</p>	<p>1回開催予定</p> <p>ホームページへ の掲載</p>	

<p>・千葉県老人クラブ連合会活動促進等事業及び老人クラブ活動等社会活動促進事業 【6,800】高齢者福祉課 千葉県老人クラブ連合会 健康づくり・介護予防支援事業</p> <p>・明るい長寿社会づくり推進機構事業補助金の中の「全国健康福祉祭参加事業」 【14,428】高齢者福祉課 全国健康福祉祭への 選手団派遣</p> <p>・千葉県福祉ふれあいプラザ運営事業 (介護予防トレーニングセンターの取組) 【92,200】高齢者福祉課 *介護予防トレーニングセンターの取組だけを抽出することが不可能なため、福祉ふれあいプラザの指定管理費を計上</p>	<p>【6,300】 → 【6,800】</p> <p>秋田県 23 種目 平成 29 年 9 月 9 日～ 12 日 165 人参加</p> <p>利用者 42,803 人</p>	<p>富山県 22 種目 平成 30 年 11 月 3 日～ 6 日 141 人参加</p> <p>利用者 41,539 人</p>	<p>和歌山県 24 種目 令和元年 11 月 9 日～ 12 日 154 人参加</p> <p>利用者 38,771 人</p>	<p>岐阜県 24 種目 (予定) 令和 2 年 10 月 31 日～ 11 月 3 日</p> <p>利用者 人</p>	
--	---	--	---	---	--

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和元年度主な施策の効果（成果・課題）	令和2年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○スポーツ立県ちば推進月間【350】 体育課 推進月間関連イベントとして「スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント」を県内11クラブで実施し、近隣の小学校と連携して、親子の触れ合いを通してスポーツに親しむきっかけとなる機会を設けました。10市町の49校が参加し、699名が様々な運動に取り組みました。参加クラブから用具の手配等の要望があったが、用具については、各クラブが行うことになっている。実施前に再度、確認しておく必要があります。</p> <p>○体育課ホームページの拡充【一】 体育課 「お役立ちリンク集」をつくり、県内スポーツ関係機関のホームページをまとめました。スポーツに関する情報を「見つけやすく」・「わかりやすい」情報提供するため、コンテンツの充実を図り、最新情報が常に提供できるよう更新作業に努めました。</p> <p>○市町村生涯スポーツ担当者研修会での啓発【一】生涯スポーツ 市町村生涯スポーツ担当者に参加を求め、生涯スポーツの振興に関する諸問題についての研修を深めるとともに、講話・事業説明・研究協議を実施し、担当者の資質向上を努めました。</p> <p>○生涯スポーツ指導者養成・活用事業【910】生涯スポーツ（再掲）リンクC施策1</p> <p>○広域スポーツセンター事業【400】生涯スポーツ（再掲）リンクC施策3</p>	<p>○スポーツ立県ちば推進月間【350】 体育課 推進月間関連イベント（親子体験）を県内10ヶ所程度で体験講習会等を開催予定。 県民への周知を図るため、広報活動の充実を図ります。 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止等により、今後の見通しが立っていないため、5月8日時点で延期か中止を判断します。</p> <p>○体育課ホームページの拡充【一】 体育課 スポーツに関する情報を「見つけやすく」・「わかりやすい」情報提供するため、コンテンツの充実を図り、最新情報が常に提供できるよう更新作業に努めます。</p> <p>○市町村生涯スポーツ担当者研修会での啓発【一】生涯スポーツ 市町村生涯スポーツ担当者に参加を求め、生涯スポーツの振興に関する諸問題についての研修を深めるとともに、講話・事業説明・研究協議を実施し、担当者の資質向上を努めます。 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止等により中止とし、資料の配付のみとします。</p> <p>○生涯スポーツ指導者養成・活用事業【910】生涯スポーツ 地域のスポーツ指導者を目指す県民が、正しい知識を身に着けることができるようにします。（リンクC施策1再掲）</p> <p>○広域スポーツセンター事業【400】生涯スポーツ クラブや市町村の課題を捉え、そのニーズに合った形態での集会・研修会を開催し、設立支援・自立活性化支援を行ってまいります。各集会・研修会では、内容を充実させ、参加者数を増やします。運営協議会では、広域スポーツセンター事業の課題について検討し、総合型地域スポーツクラブを中心とした地域コミュニティづくりと県民のスポーツ活動の充実を推進します。</p>

○生活習慣病予防支援人材育成事業

【964】健康づくり支援課

ロコモティブシンドロームについて、健康ちば21(第2次)で目標として掲げる県民の認知度向上を図るため、市町村及び保健指導関係機関へ、ロコモティブシンドロームについてのリーフレットを配布しました(2925箇所約42,000部)。

日常生活の中で手軽にできる運動について県ホームページで情報提供しています。

ロコモティブシンドローム予防及びフレイル予防を普及啓発できる人材育成として、個々の身体の状態に合わせた適切な運動指導技術の向上を図るため、9月28日に健康・体力づくり指導者研修会を開催し、61名が参加しました。

また、各市町村独自の体操について、県ホームページに現在19市町の26種類の体操について情報提供しています。

○老人クラブが行うシニア・スポーツの

推進への支援【6,300】高齢者福祉課

千葉県老人クラブ連合会が実施する事業に対して助成するとともに、市町村の老人クラブ連合会や個々の老人クラブの活動を支援するために市町村への間接補助を行いました。

県老人クラブでは、シニア・スポーツとして、ゲートボールやグランドゴルフ等のスポーツ大会の地区予選及び県大会を県内約10ヶ所で開催し、優秀な成績を修めた人を、全国健康福祉祭(ねんりんピック)に派遣する県の代表として推薦しました。

○明るい長寿社会づくり推進機構事業補助金(全国健康福祉祭参加事業)【12,040】

高齢者福祉課

令和元年度の全国健康福祉祭(ねんりんピック)は、第32回和歌山大会で、11月9日～11月12日までの4日間開催され、世代間・地域間の交流を深め、本県の高齢者スポーツを推進しました。

○生活習慣病予防支援人材育成事業

【965】健康づくり支援課

ロコモティブシンドロームについて、健康ちば21(第2次)で目標として掲げる県民の認知度向上を図るため、市町村へパンフレットを配布します。

日常生活の中で手軽にできる運動について県民だより・県ホームページ等で情報提供します。

「健康・体力づくり指導者研修会」を開催し、ロコモティブシンドローム予防及びフレイル予防を普及啓発できる人材を育成します。

各市町村独自の体操についての取組を把握し、県ホームページにおいて情報提供します。

○老人クラブが行うシニア・スポーツの

推進への支援【6,800】高齢者福祉課

千葉県老人クラブ連合会が実施する事業に対して助成するとともに、市町村の老人クラブ連合会や個々の老人クラブの活動を支援するために市町村への間接補助を行います。

県老人クラブでは、シニア・スポーツとして、ゲートボールやグランドゴルフ等のスポーツ大会の地区予選及び県大会を県内約10ヶ所で開催し、優秀な成績を修めた人を、全国健康福祉祭(ねんりんピック)に派遣する県の代表として推薦します。

○明るい長寿社会づくり推進機構事業補助金(全国健康福祉祭参加事業)【14,428】

高齢者福祉課

令和2年度の全国健康福祉祭(ねんりんピック)は、第33回岐阜大会で、10月31日～11月3日までの4日間開催されます。世代間・地域間の交流を深め、本県の高齢者スポーツを推進します。

○千葉県福祉ふれあいプラザ運営事業

(介護予防トレーニングセンターの運営)

【92,200】高齢者福祉課

千葉県福祉ふれあいプラザの介護予防トレーニングセンターにおいて、高齢者も使用しやすい運動機器や専門のスタッフを配置し、利用者一人ひとりに合った運動プログラムを提供し、運動支援を行いました。

また、多くの高齢者が利用できるよう、介護予防トレーニングセンターについて、ホームページやポスター等で広く周知しました。

○千葉県福祉ふれあいプラザ運営事業

(介護予防トレーニングセンターの運営)

【93,000】高齢者福祉課

千葉県福祉ふれあいプラザの介護予防トレーニングセンターにおいて、高齢者も使用しやすい運動機器や専門のスタッフを配置し、利用者一人ひとりに合った運動プログラムを提供し、運動支援を行います。

また、多くの高齢者が利用できるよう、介護予防トレーニングセンターについて、ホームページやポスター等で広く周知します。

リンクB 運動・スポーツを楽しむための健康・体づくり

施策2 障害のある人の運動・スポーツの推進

目標・方向性（関連性） 障害のある人がスポーツに親しみやすい環境整備を推進する

ア 障害者スポーツ・レクリエーションの推進（リンクC・E）

イ スポーツ施設の活用（リンクC・E）

令和2年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2計画	3
<ul style="list-style-type: none"> 千葉県障害者スポーツ大会 【9,296】障害者福祉推進課 全国障害者スポーツ大会選手団派遣 【43,074】障害者福祉推進課 手をつなぐスポーツのつどい 【2,000】障害者福祉推進課 障害者スポーツ・レクリエーションセンター運営事業 【22,202】障害者福祉推進課 障害者スポーツ教室等開催事業 【1,875】障害者福祉推進課 障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業 【9,200】障害者福祉推進課 障害者スポーツ交流大会 【1,500】障害者福祉推進課 障害者スポーツ施設利用促進講座 【0】障害者福祉推進課 障害者スポーツ用具貸出事業 【0】障害者福祉推進課 	<ul style="list-style-type: none"> 10競技実施選手2,113名 第17回大会選手69名 役員44名 知的障害のある人のレクリエーション大会の実施 選手1,555名 付添職員等736名 役員等287名 施設の貸出し利用者数 52,395名 初級障害者スポーツ指導員養成講習会の開催 登録者33名 障害者スポーツ指導者研修会の開催 参加者14名 障害者アスリート部会の実施 ・競技体験会の実施12競技23事業（予定） 	<ul style="list-style-type: none"> 10競技実施選手2,160名 第18回大会選手54名 役員46名 知的障害のある人のレクリエーション大会の実施 選手1,422名 付添職員等718名 役員等277名 施設の貸出し利用者数 45,292名 初級障害者スポーツ指導員養成講習会の開催 第1回登録者34名 第2回登録者35名 障害者スポーツ指導者研修会の開催 参加者20名 5市町村にコーディネータを派遣し、体験会等を開催 企業等と障害のある人のチームによる交流大会を開催 市町村・公共スポーツ施設職員を対象に障害者対応に係る講座を開催 貸出を行っている障害者スポーツ用具の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技他10競技実施選手1,924名 第19回大会選手88名 役員62名 知的障害のある人へのレクリエーション大会の実施 選手1,433名 付添職員等692名 役員等272名 施設の貸出し 初級障害者スポーツ指導員養成講習会の開催 第1回登録者29人 第2回登録者33人 障害者スポーツ指導者研修会の開催 5市町村へコーディネーターを派遣し、体験回答を開催 企業等と障害のある人のチームによる交流大会を開催 市町村・公共スポーツ施設職員を対象に障害者対応に係る講座を開催 障害者スポーツ用具の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技他10競技を実施予定（新型コロナウイルスの影響で5,6月の実施競技は中止） ・第20回大会へ選手を派遣する 知的障害のある人へのレクリエーション大会の実施 障害者スポーツ指導者研修会の実施 概ね5市町村にコーディネーターを派遣 企業等と障害のある人のチームによる交流大会を開催 市町村・公共スポーツ施設職員を対象に障害者対応に係る講座を開催 障害者スポーツ用具の貸出 	

<p>・パラ「旅」応援事業 【9,800】 障害者福祉推進課</p> <p>・パラスポの「輪」フォーラム 【2,680】 障害者福祉推進課</p> <p>・障害者スポーツ組織の整備及び 競技体験会の実施 【15,000】 障害者福祉推進課</p> <p>・特別支援学校での体育的施設・ 用具の活用 【一】 特別教育支援課・体育課</p> <p>・特別支援教育における学校体育に 係る研究指定【一】 特別支援教育課</p> <p>・特別支援学校を拠点とした障害者 スポーツの振興 H30【12,000】 特別支援教育課 R01【15,000】 特別支援教育課 R02【15,000】 特別支援教育課</p>	<p>・体育施設の開放校数：10校 ・障害者スポーツ団体への開放校数：5校 ・用具の貸出校数：8校 ・障害者スポーツ団体への貸出校数：5校 ・矢切特別支援学校を研究指定して実践</p>	<p>・障害者アスリート部会の実施</p> <p>・競技体験会の実施 13 競技 22 事業</p> <p>・千葉特別支援学校、楨の実特別支援学校を研究指定して実践</p> <p>特別支援学校における障害者スポーツの普及・啓発 障害者スポーツを介した交流及び共同学習</p>	<p>・障害のある人のパラスポーツ国際大会の現地観戦を支援 ・県の障害者スポーツ等に係る取組みを周知するためのフォーラムを開催</p> <p>・障害者スポーツ強化・支援部会の実施 ・競技体験会の実施</p> <p>・八日市場特別支援学校を研究指定して実践 ・職員の障害者スポーツの研修 ・障害者スポーツを介した交流 ・障害者スポーツ用具の整備 ・特別支援学校の児童生徒を対象とした障害者スポーツの普及 ・体育施設の貸出 ・体育用具の貸出</p>	<p>・R2の 実施なし</p> <p>・R2の 実施なし</p> <p>・障害者スポーツ強化・支援部会の実施 ・競技体験会の実施</p> <p>・県内障害者スポーツ情報の集約・発信を行う。</p> <p>・千葉盲学校を研究指定 ・職員の障害者スポーツの研修 ・障害者スポーツを介した交流</p> <p>・障害者スポーツ用具の整備 ・特別支援学校の児童生徒を対象とした障害者スポーツの普及 ・体育施設の貸出 ・体育用具の貸出</p>
--	--	--	--	---

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和元年度主な施策の効果（成果・課題）	令和2年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班
<p>○千葉県障害者スポーツ大会【9,296】 障害者福祉推進課</p> <p>障害者スポーツの振興を図り、障害のある人の立と社会参加の推進に寄与することを目的として、関係団体等と連携し、令和元年5月に陸上競技を中心として、ほか10競技（水泳競技、フットベースボール競技、卓球競技、アーチェリー競技、ボウリング競技、バレーボール競技、バスケットボール競技、ソフトボール競技、フライングディスク競技、サッカー競技）を実施しました。令和元年度は選手1,924名、競技役員等1,983名が参加しました。</p> <p>また、障害のある人のスポーツによる社会参加の機運を盛り上げ、その裾野を広げていくため、大会の一部として競技団体等と連携し、普及・育成のための練習会を実施しました。</p>	<p>○千葉県障害者スポーツ大会【9,432】 障害者福祉推進課</p> <p>障害者スポーツの振興を図り、障害のある人の自立と社会参加の推進に寄与することを目的として、関係団体等と連携し、陸上競技を中心として、ほか10競技（水泳、フットベースボール、卓球、アーチェリー、ボウリング、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、フライングディスク、サッカー）を実施します。また、障害のある人のスポーツによる社会参加の機運を盛り上げ、その裾野を広げていくため、大会の一部として競技団体等と連携し、普及・育成のための練習会を実施します。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和2年5月・6月の大会実施は見送ります。（アーチェリー、陸上競技、水泳、サウンドテニス、卓球、フットベースボール）</p>
<p>○全国障害者スポーツ大会選手団派遣【43,073】 障害者福祉推進課</p> <p>令和元年10月に茨城県で開催を予定していた「第19回全国障害者スポーツ大会（いきいき茨城ゆめ大会）」へ選手88名、役員62名、総勢150名の派遣を予定していましたが、台風19号接近の影響で大会が中止となりました。</p> <p>また、同大会出場に備え、選手の競技力の向上を目的に競技ごとに3回程度の強化練習会を実施しました。</p>	<p>○全国障害者スポーツ大会選手団派遣【43,919】 障害者福祉推進課</p> <p>令和2年10月に鹿児島県で開催される「第20回全国障害者スポーツ大会（燃える感動鹿児島大会）」へ選手団を派遣します。また、同大会出場に備え、選手の競技力の向上を目的に競技ごとに3回程度の強化練習会を実施します。</p>
<p>○手をつなぐスポーツのつどい【2,000】 障害者福祉推進課</p> <p>知的障害のある人とその家族、福祉関係者等が一堂につどい、互いに手をつなぎ、スポーツを通じて体力の増進と親睦を図り、併せて社会の人々から多くの支援と理解を得ることを目的として、玉入れ、パン喰い競走などのレクリエーション大会を実施しました。令和元年度は選手1,433名、付添職員等692名、役員等272名が参加しました。</p>	<p>○手をつなぐスポーツのつどい【2,000】 障害者福祉推進課</p> <p>知的障害のある人とその家族、福祉関係者等が一堂につどい、互いに手をつなぎ、スポーツを通じて体力の増進と親睦を図り、併せて社会の人々から多くの支援と理解を得ることを目的として、玉入れ、パン喰い競走などのレクリエーション大会を実施します。</p>
<p>○障害者スポーツ・レクリエーションセンター 運営事業【22,202】障害者福祉推進課</p> <p>障害のある人のスポーツ・レクリエーション活動の拠点施設として、障害者スポーツ・レクリエーションセンターの施設の貸し出しを行い、令和元年度は48,126名が利用しました。また、センター独自の教養講座（7講座）やセンター利用者による交流会等を実施し、障害のある人の参加機会の充実を図りました。</p>	<p>○障害者スポーツ・レクリエーションセンター 運営事業【22,405】障害者福祉推進課</p> <p>障害のある人のスポーツ・レクリエーション活動の拠点施設として、障害者スポーツ・レクリエーションセンターの施設の貸し出しを行います。また、センター独自の教養講座（8講座）やセンター利用者による交流会等を実施し、障害のある人の参加機会の充実を図ります。</p>
<p>○障害者スポーツ教室等開催事業【1,875】 障害者福祉推進課</p> <p>多様な障害者のスポーツ活動に対応するため、専門的な知識を活かし、安全にスポーツ活動の援助を行う障害者スポーツ指導員は、令和元年6月末現在、県内で814名が登録されています。県では、初級障害者スポーツ指導員養成講習会を継続して実施しており、令和元年度は62名が新たに登録しました。</p>	<p>○障害者スポーツ教室等開催事業【1,875】 障害者福祉推進課</p> <p>多様な障害者のスポーツ活動に対応するため、専門的な知識を活かし、安全にスポーツ活動の援助を行う障害者スポーツ指導員の養成講習会を実施します。また、日頃スポーツに接することの少ない障害者への指導を行う者を対象に、障害者スポーツ指導者研修会を実施します。</p>

また、日頃スポーツに接することの少ない障害者への指導を行う者を対象に、障害者スポーツ指導者研修会を継続して実施しており、令和元年度は18名が参加しました。

○障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業【9,200千円】障害者福祉推進課
市町村が地域の大学やクラブチーム等と連携し、障害者スポーツ大会や体験会、教室等を主体的に取り組むように促すため、県内5市町にコーディネーターを派遣し、体験会等を開催しました。

なお、事業の一部については、台風16号、19号及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止といたしました。

○障害者スポーツ交流大会【1,500】障害者福祉推進課
障害者スポーツを広く県民に周知することにより、障害者スポーツを通じた、障害のある人の理解促進を図るため、企業チームと障害のある人のチーム等が交流試合を実施しました。

○障害者スポーツ施設利用促進講座【0】障害者福祉推進課
障害のある人が地域でスポーツできる場を創出するため、県内唯一の障害者優先スポーツ施設である千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターのノウハウを活用し、各市町村職員や各スポーツ施設職員を対象に、障害のある人向けのプログラムや合理的配慮の方法等の講座を実施し、19名が参加しました。

○障害者スポーツ用具貸出事業【0】障害者福祉推進課
障害者スポーツの貸出を広く実施することで、興味はあっても体験することができなかった障害のある人がスポーツに親しめるよう障害者スポーツ用具の貸出を実施しました。

○パラ「旅」応援事業【9,800】障害者福祉推進課
障害種別等を問わず、様々な障害のある人がゴールボール及びバドミントンの国際大会を学生ボランティアやヘルパー等による支援のもと現地観戦することで、障害のある人の外出意欲の涵養や障害者スポーツへの参加意欲の促進を図るとともに、参加した学生ボランティア等の新たな介護観の醸成を図りました。

○パラスポの「輪」フォーラム【2,680】障害者福祉推進課
パラアスリートによる基調講演や福祉関係者等によるパネルディスカッション、障害者スポーツに係る施策の紹介及び県内の福祉事業者・企業の取組紹介を行うフォーラムを実施することで、参画した方々の障害者スポーツに関する機運を醸成し、主体的な取組みを促しました。

○障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業【9,200】障害者福祉推進課
県内にコーディネーターを派遣し、市町村が地域の大学やクラブチーム等と連携し、障害者スポーツ大会や体験会、教室等を主体的に取り組むように促します。

○障害者スポーツ交流大会【3,000】障害者福祉推進課
企業等のチームと障害のある人のチームによる障害者スポーツ交流大会を開催し、障害者スポーツを広く県民に周知することにより、障害者スポーツを通じた、障害のある人の理解促進を図ります。

○障害のある人のスポーツ施設利用促進講【0】障害者福祉推進課
県内唯一の障害者優先スポーツ施設である千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターのノウハウを活用し、各市町村職員や各スポーツ施設職員を対象に、障害のある人向けのプログラムや合理的配慮の方法等の講座を実施し、障害のある人が地域でスポーツできる場を創出します。

○障害者スポーツ用具貸出事業【0】障害者福祉推進課
障害者スポーツの貸出を広く実施することで、興味はあっても体験することができなかった障害のある人がスポーツに親しめるようにします。

※令和2年度は実施なし

※令和2年度は実施なし

○障害者スポーツ組織の整備及び競技体験会
実施【15,000】体育課・障害者福祉推進課
リンクD・Eと連携

パラリンピックに1人でも多くの千葉県ゆかりの選手を輩出するため、関係団体と連携し、競技団体の組織化を進め、強化体制の充実を図ることを目的に、障害者スポーツ強化・支援部会を1回開催しました。

また、運動能力の高い障害者が競技への興味・関心を高め、競技に参加できる環境を作るため、競技体験会を18競技69日程開催しました。

○特別支援学校での体育的施設・用具の活用

【一】特別教育支援課・体育課

障害のある人が生涯にわたってスポーツ活動を楽しむための基盤づくりとして特別支援学校が活用できるように学校開放や用具の貸出等に努めます。

各種回数等の調査は、3月末に集計。翌年度4月中に集計予定

○特別支援教育における学校体育に係る

研究指定【一】特別支援教育課

県の教育課題に即して学校体育に関する教育内容や方法について調査研究を行い、県教育の改善及び充実に資することを趣旨とする取組であり、令和元年度は特別支援学校を拠点とした障害者スポーツの振興として、県立八日市場特別支援学校を指定しました。

・八日市場特別支援学校の研究概要

I 校内の児童生徒を対象としたオリンピック・パラリンピック関連の授業を通じた競技体験や近隣小学校や大学生との交流

(1) オリンピック、パラリンピック競技の体験
(全校児童生徒140人)

・小学部児童 Tスロー体験

・中学部生徒 オリンピック・パラリンピック
競技種目

(2) 近隣小学校とのTスローを通じた交流

・中学部生徒 Tスロー交流

(3) 県内の学生団体「おりがみ」との交流

・中学部、高等部生徒 学生オリジナル競技
種目交流

・文化祭会場にて、全校児童生徒、学生、地域
住民とボッチャ競技交流

○障害者スポーツ組織の整備及び競技団体への
支援【15,000】体育課・障害者福祉推進課
リンクD・Eと連携

障害者スポーツ競技団体が、障害者スポーツの普及のために実施する体験会等に対し助成を行い、障害のある人もない人も様々な障害者スポーツに触れる機会を作るとともに、県内の競技団体の設立を促進することで障害者スポーツの振興を図ります。

○パラスポ交流促進事業【5,000】

障害者福祉推進課

競技団体や地域のクラブ活動等の県内のパラスポ情報の集約を行い、スポーツをする場を見つけやすくすることや、アクセスしやすい環境を整備するとともに、競技団体等と企業等、協力団体のマッチングが可能な情報提供サイトを新設します。

○特別支援学校での体育的施設・用具の活用

【一】特別教育支援課・体育課

障害のある人が生涯にわたってスポーツ活動を楽しむための基盤づくりとして特別支援学校が活用できるように学校開放や用具の貸出等に努めます。

○特別支援教育における学校体育に係る

研究指定【一】特別支援教育課

県の教育課題に即して学校体育に関する教育内容や方法について調査研究を行い、県教育の改善及び充実に資することを趣旨とする取組であり、令和元年度は特別支援学校を拠点とした障害者スポーツの振興として、県立千葉盲学校を指定しました。

・千葉盲学校

今後、事業計画書提出

- II アスリートによる生徒との交流
 - (1) 北総地区特別支援学校駅伝大会でのアスリートとの交流（柏原竜二氏）
 - ・ 中学部、高等部生徒 ランニング講習、たすき練習、フォーム指導、駅伝の楽しみ方大会応援会場の清掃方法、意義等について
- III 卒業後の生涯スポーツを見据えた取り組み
 - (1) 障害者スポーツ大会出場に向けて
 - ・ 高等部生徒 卒業生、地域住民、指導者
- IV 教職員を対象としたパラリンピック競技の講習会
 - (1) シッティングバレーボール講習会
 - ・ 近隣地域小、中学校、特別支援学校教職員 40人

○特別支援学校を核とした障害者スポーツの振興【15,000】特別支援教育課

特別支援学校を障害者スポーツの拠点とするために、障害に応じたスポーツ種目の備品整備を行い障害者スポーツ団体等と連携を図りながら、学校ごとに各種スポーツの推進とともに、地域における生涯スポーツの拠点づくりをすすめました。

- ・ 障害者スポーツの拠点校としての競技用具の整備
- ・ 視覚、聴覚、知的（流山高等学園）の重点種目備品整備
- ・ 知的 28校、肢体不自由・病弱 7校への備品整備

- ・ 障害者スポーツ団体と連携した教職員の障害者スポーツ研修
- ・ 拠点校 7校を会場に教職員の障害者スポーツ研修の実施
- ・ 障害者スポーツの競技ルールや用具の使用方法等、特別支援学校の教職員が指導員等から学ぶ講習会を開催します。
- ・ 特別支援学校におけるトップアスリート等による実技指導や講演会の開催
- ・ 特別支援学校体育連盟主催スポーツ大会等での開催

特体連主催のスポーツ大会や盲・聾学校を対象とする大会でのアスリートによる講演や実技披露を行いました。

- ・ 盲・聾・流山高等学園等拠点校での開催
- 拠点校 7校において、学校行事等で地域も交えて障害者スポーツについて学びながら、障害者への理解を深めました。

各種回数等の調査は、3月末に集計翌年度4月中に集計予定

○特別支援学校を核とした障害者スポーツの振興【15,000】特別支援教育課

特別支援学校を障害者スポーツの拠点とするために、障害に応じたスポーツ種目の備品整備を行い障害者スポーツ団体等と連携を図りながら、学校ごとに各種スポーツの推進とともに、地域における生涯スポーツの拠点づくりをすすめていきます。

- ・ 障害者スポーツの拠点校としての競技用具の整備
- ・ 障害者スポーツ団体と連携した教職員の障害者スポーツ研修
- ・ 特別支援学校におけるトップアスリート等による実技指導や講演会の開催と観戦応援事業
- ・ 特別支援学校体育連盟主催スポーツ大会等での開催
- ・ 盲・聾・流山等拠点校での開催
- ・ 障害者スポーツ振興のための担当者会議